

ブルーベリー ツツジ科

参考文献
 間芋谷徹(2016),くだもの魅力,日本園芸農業協同組合連合会
 一般社団法人果種協・国立研究開発法人農研機構・国立研究開発法人JIRCAS(監修)(2017),図説果物の大図鑑,株式会社マイナビ出版 他

○多摩青果の主な入荷情報

	色の基準 少 多											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
産地												
青森												
千葉												
長野												
愛知												
愛媛												
アメリカ												
メキシコ												
チリ												

○ブルーベリーの選び方と保存方法

選び方	青紫色でハリがあるもの 表面に白い粉(ブルーム)があるもの
保存	生 水洗いせずに密閉容器に入れ、冷蔵庫で保存
	冷凍 傷んでいる実があれば取り除き 水洗い後ペーパータオルで水気をふき取り フリーザーバックに入れて保存
食べ頃	品種を問わず、濃紺に色づいているもの

○月別情報

- 4～5月：愛知・愛媛など早場産地から国産が出始める
- 6月：各産地の入荷が増加、価格も手頃になる
- 7～8月：全体の入荷量がピークを迎え、観光農園も開かれる。
- 9～3月：メキシコ産を中心に輸入品の入荷が増える

○産地情報

- 千葉：昭和60年代に木更津市で産地形成。
君津市はポット(鉢植え)を使用したハウス栽培も行う。
ハイブッシュ系・ラビットアイ系共に栽培し、長期出荷。
- 長野：生産量全国1位。昭和40年頃から栽培。
高所での栽培が主になるため、ハイブッシュ系が中心。
- 愛媛：最も入荷期間が長い産地。北上地区などで栽培。
地植え栽培主流だが、近年ポット栽培を導入、県も推奨。
- アメリカ：産地は西部・中西部・北東部・南部に分かれ、各地域の気候に適した品種を栽培。西部と中西部で盛ん。
用途別生産量は同一地域でも州によって違いがある。
- メキシコ：松チップと山から切り出した赤土を配合。
理想の土壌に改良し、育ちが良くなる工夫をしている。
- チリ：南半球に位置し、北半球の入荷が減少する時期に栽培。
1980年代中期より経済的栽培が始まる。
生育品種はサザンハイブッシュ系。

発行：東京多摩青果株式会社 営業開発部開発課

※2019年現在の多摩青果における各産地の情報とおおよその入荷時期です。気象条件等で実際の入荷状況は異なる場合があります。

ブルーベリー ツツジ科

栽培種

多摩青果では栽培種のみのお回り。アメリカ北東～南部フロリダに自生する数種の野生種を品種改良し誕生。

ハイブッシュ系

栽培種を中心。耐暑性が劣るため、冷涼地域での栽培に最適。

「ノーザン」「サザン」と種類があり、寒冷地向けて最も古くに品種改良されたものがノーザン。

暖地でも栽培でき、品種改良を開始した時期が他系統に比べ新しいものがサザン。サザンはノーザンを改良したもの。

ラビットアイ系

熟す前の実がウサギの目のようなピンクに色付くことから命名。

ハイブッシュ系よりも土壌適応性が高く、丈夫で樹勢が良い。

果肉は甘味が強いいため、生食に向く。

耐寒性が弱く暖地栽培に最適。日本では関東以南で作られる。

野生種

熱帯山岳地帯～温帯・亜寒帯まで広く自生。

ローブッシュ系

アメリカ北部やカナダなど寒冷地に自生している。

樹高は15～40cmで、果実はブルーベリーの中で最も小さい。

ほとんどが冷凍されジャムやお酒などの加工品になる。

○ブルーベリーを栽培するには

一時期、家庭菜園で栽培する方が急増。

小果樹では最も人気があり、苗木の種類も豊富で簡単に入手できるが、繊細で栽培の難易度は少々高い。



土壌	やや酸度を強くする。 中性や、多くの植物が好む弱酸性では枯れる可能性がある。 ラビットアイ系は強健であるため通常の土壌でもある程度栽培することは可能。
水はけ	木が細い根で支えられており、水切れすると枯れてしまい反対に水が多いと根腐れを起こす。 そのため、地植え栽培よりも鉢植え栽培をすると良い。 底に穴が開いているものを使用することで水はけが良くなり適切な水分量で育てやすい。
受粉	ラビットアイ系は自ら実を作りにくいいため、必ず同系統で異なる品種を隣り合わせにして植える必要がある。 ハイブッシュ系は一本でも実をつけるが異品種で混植することで、成りがよく実も大きくなりやすい。
摘花	実は2年程度で成り始めるが、植えてから3年は枝を充実させるため、花芽を摘み生長させる。 4年目以降本格的に成らせることが可能。
収穫	果実は3～5週の長期にわたって熟す。 約5日間隔で着色の良い果実から収穫すると長く楽しめる。